

# やっぱり「集まれば元気、語り合えば勇気」だね!

## 第62回女性部定期大会成功

六月六日(土)エデュカス東京で、女性部大会が開催されました。「へいわのうた」の合唱が始まり、前田女性部長、児玉都教組委員長からの挨拶に続き、木原全教女性部事務局長や大橋美枝子東京母親実行委員長から連帯の挨拶をいただきました。

悪天候のため参加できなかった八丈島からのメッセージには、会場から大きな拍手がわきました。支部地区協からたくさんの方々が参加され、今年初の悲痛な現職死の様子が語られ、このようなことが二度とないような職場づくりをしてゆきたいという、職場の仲間の決意が参加者の心を打ちました。

足立からは、今年初めの悲痛な現職死の様子が語られ、このようなことが二度とないような職場づくりをしてゆきたいという、職場の仲間の決意が参加者の心を打ちました。

大会後は、恒例の市ヶ谷駅頭での宣伝行動。「憲法を守ろう」、「三十人学級実現」を訴え、署名も二十二筆集まりました。

### 国分寺市長選挙

#### 川合 洋行さんを推薦決定

#### 国分寺を変えよう!福祉充実のまちへ

国分寺市長選挙が、六月十四日(日)告示、六月二十一日(日)投票で行われ、川合 洋行(かわい ひろゆき)さんを推薦することになりました。川合 洋行さんは、国分寺市議二十六年の経験と実績を活かし、「国分寺を変えよう!福祉充実のまちへ」として、「大型事業のムリ・ムダをなくし市民生活に」とする基本政策を発表し、住民合意なくしてまちづくりなし、子育て支援は未来の投資などの政策の実現で福祉充実の国分寺づくりとご一緒することを訴えています。



都教組は、全都からの支援を呼びかけています。



全員一致で大会方針が決定されました

### ◆2009年度 6月教研 後半企画◆

どの企画にも自由に参加できます

名称	日時	講師	会場	交通	主催
6 子どもと生きる、教師を生きる ～学ぶおもしろさと生きる楽しさを求めて～	6月26日(金) 18時～21時	佐藤 博さん (元板橋志村一中教諭)	足立教育会館	東武伊勢崎線 西新井駅西口下車5分	足立支部
7 港区の平和関連史跡めぐり(フィールドワーク) 「2・26事件の現場を訪ねる」	6月27日(土) 10時(集合)～12時(解散)	高塚 純一さん	港区内	<集合> 地下鉄六本木駅下車 六本木交差点前(交差点わき)	港支部
8 仲間の中で子どもは育つ 一詩を書き読みあうことで育ち合う子どもたち	6月20日(土) 14時～16時30分	金田一 清子さん (青梅市立第二小学校)	葛飾区立白鳥小学校	京成線・お花茶屋駅下車	葛飾支部 共催:葛飾作文の会
9 府中地区協6月教育研究集会 講演「なぜ、親はモンスターになるのか」	6月24日(水) 18時～19時30分	石川 結貴さん (ノンフィクションライター)	ルミエール府中	京王線・府中駅北口下車	北多摩西支部 府中地区協
10 すぐでき、こどもをひきつける 「手遊び、ふれあい遊び」	6月26日(金) 18時～20時	池田 文枝さん (元新宿区立幼稚園教諭)	新宿区立落合第五幼稚園	西武新宿線・大江戸線 「中井駅」下車5分	新宿支部
11 「担任と専科とで、子どもの育ちを支え合う」	6月27日(土) 14時～16時	中山三恵子さん (世田谷玉川小・音楽専科) 飯塚 通子さん (元世田谷玉川小)	世田谷区立三宿小学校	東急田園都市線・世田谷線 三軒茶屋駅北口下車 12分	世田谷支部
12 中学校社会科教科書問題	6月24日(水) 18時～	俵 義文さん(子どもと教科書全国ネット21事務局長)	高砂地区センター2F	京成線・高砂駅下車	葛飾支部
13 「本を通してゆたかな子育てを」	6月26日(金) 18時～20時	別院 清さん(通称エプロンおじさん(ほるぷ))	中野区商工会館	JR中央線 中野駅北口下車7分	中野支部
14 「こんなとき、どうしたらいいの?」 軽度発達障害の子どもの理解と指導の実際	7月3日(金) 18時30分～20時30分	前原 直美さん (杉並区八歳小学校)	あんさんぶる狹窪	JR中央線・狹窪駅南西口より線路沿い西へ3分	杉並支部
15 さあ夏だ! 踊ろうエイサー ～この国の大地を踏みしめて	7月18日(土) 13時30分～16時30分	荒馬座 座員	アカデミー茗台1階 レクリエーションホールB	地下鉄丸の内線・茗荷谷駅下車10分 茗台中学校となり	文京支部

時数が増えたことで低学年でも五時間授業が増え、子どもたちがいらし勉強嫌いが増えている今こそ、三十人学級の実現が緊急に必要なことである。ある地区の管理職は四年間に八人もの退職者を出しているというひどいパワハラの実態。大田からは、区内一斉に算数土曜補習が業者と提携して行われ、現場で大混乱を引き起こしており、七時間目に補

習をして子どもの負担も増しているという報告がありました。三鷹では市内の小中全部が一貫校になっており、建物は別々なので現場に大きな困難がもたらされていることも話されました。主任教諭制度についてのさまざまな問題点も明らかになりました。足立からは、今年初めの悲痛な現職死の様子が語られ、このようなことが二度とないような職場づくりをしてゆきたいという、職場の仲間の決意が参加者の心を打ちました。育児短時間勤務制度を実際に取っている職場からは、制度として後補充を求めようというものでした。養護教諭からは、病欠代替制度を求める声があり、栄養職員からは欠員問題と栄養教諭の制度改善要求が出されました。組合加入については「誰でも、何でも、何度でも」声をかけることの大切さ、青年への働きかけを強めて成功している様子が話され、たくさん加入の報告がありました。参加者の中には、今後の組合を担う若い組合員も目立ち、開始前や休憩時間にはおしゃべりしながら買い物を楽しむいろいろな世代の代表員の姿がありました。昼休みは、大石修さんのチエロのコンサート。ゆったりとした穏やかな音色に、参加